

2004 神戸学院大学 Green Festival

第211回

10月2日(土) 15:00開演

水戸芸術館専属

●ミト・デラルコ コンサート

(古楽器による弦楽四重奏団)

クラシカル・ヴァイオリン/寺神戸 亮、ソフィー・ジェント
クラシカル・ヴィオラ/森田芳子 クラシカル・チェロ/鈴木秀美

第212回

10月16日(土) 15:00開演

●渡辺玲子 ヴァイオリン・リサイタル

ピアノ/鷺宮美幸

第213回

10月26日(火) 17:00開演

●善竹家「秋」の狂言会

出演者/善竹忠一郎、忠重、隆司、隆平、忠亮
演目/「萩大名」「月見座頭」「狐塚」

第214回

10月31日(日) 15:00開演

●稲葉 綾(ピアノ) ジョイント・リサイタル 黒田育世(チェロ)

第215回

11月6日(土) 15:00開演

●仲道郁代 ピアノ協奏曲の午後

指揮/ゲルハルト・ボッセ 管弦楽/神戸市室内合奏団 ピアノ/伊藤 恵
-ベートーヴェン ピアノ協奏曲全曲連続演奏 第1回-

第216回

11月20日(土) 15:00開演

●長谷川陽子 チェロ・リサイタル

第217回

12月5日(日) 15:00開演

●神戸学院大学管弦楽団 第10回定期演奏会

指揮/松井隆司

第218回

12月11日(土) 15:00開演

●松岡万希 ソプラノ・リサイタル

ピアノ/浜野千津

第219回

12月16日(木) 17:00開演

●劇団東演公演「WWW.COM」

作/喻栄軍(上海) 訳/中山文(本学教授)
演出/越光照文

第221回

12月23日(祝) 15:00開演

●神戸学院大学学生放送局

第27回放送祭 ~3ヶ月~

第220回

12月18日(土) 15:00開演

●林泉弦楽四重奏団 コンサート

ヴァイオリン/林 泉、宮下和子
ヴィオラ/賤津進 チェロ/林口眞也
-ベートーヴェン 弦楽四重奏曲全曲連続演奏 第2回-

関西から



●入場無料

会場/神戸学院大学メモリアルホール(9号館)

主催/神戸学院大学

後援/兵庫県・(財)神戸市民文化振興財団

参加/関西元気文化圏

インターネットホームページ <http://www.kobegakuin.ac.jp/>

神戸学院大学講演会・講座案内

- お申込方法 ◎官製往復ハガキを使用してください。申込者多数の場合は抽選になります。
 - ・ 往信裏面に①公演日 ②公演名 ③住所 ④氏名 ⑤電話番号をご記入ください。
 - ・ 返信表面にお申し込みの方の郵便番号、住所、氏名をご記入ください。
 - ・ 返信裏面は空白のままにお願いします。
 - ・ 1枚につき1公演、1名様のみのお申し込みになります。
 - ・ 受付期間は各公演の1カ月前~2週間前(必着)です。
 - ・ 学齢期に達していないお子さまの申込および入場はできません。
 - お申込み・お問い合わせ先
〒651-2180 (郵便番号のみで到着します)
神戸学院大学グリーンフェスティバル係 電話078-974-1607
 - 交通経路と所要時間
 - ① JR「明石」駅より「神戸学院大学行」バスに乗車(約20分)
 - ② 神戸市営地下鉄「伊川谷」駅より「神戸学院大学行」バスに乗車(約15分)
 - ③ JR「朝霧」駅より「神陵台行」バスに乗車、終下車後徒歩約12分
- ※お車でのご来場は固くお断りいたします。

ミト・デラルコ (古楽器による弦楽四重奏団) コンサート

- 曲目 ●ハイドン……弦楽四重奏曲 二長調 作品20-4 Hob.Ⅲ-34 「ヴェネチアの脱走」
- モーツァルト……弦楽四重奏曲 第14番 ト長調 K.387
- ハイドン……弦楽四重奏曲 ヘ長調 作品77-2 Hob.Ⅲ-82 「雲がゆくまで待とう」

ミト・デラルコはオリジナル楽器を用いる弦楽四重奏団で、数々ある好企画で評判の水戸芸術館4番目の専属楽団として1999年に結成され、これまでの6回の公演で高い評価を受けてきました。古典派の作曲家ハイドンとモーツァルトの名曲を3曲ご紹介しますが、これらはお互いに影響を与え合った作品です。皆様のからご質問を通して楽器の説明もさせていただき予定。鈴木さんは1999年暮に続き、2回目のグリーン・フェスティバル登場。あとのお三方は初登場です。

渡辺玲子 ヴァイオリン・リサイタル

- 曲目 ●クララ・シューマン……ヴァイオリンとピアノのための3つのロマンス 作品22
- ブルーノ・ワルター……ヴァイオリンとピアノのためのソナタ イ長調
- バルトーク……ヴァイオリンとピアノのためのラプソディ 第2番
- ブラームス……ヴァイオリンとピアノのためのソナタ イ長調 作品100

2000年秋に初登場して満場を沸かした後、日本人ヴァイオリニストのトップ・グループのひとつでニューヨークを本拠地に世界的に活躍中ですが、珍しい作品を発掘して紹介することにも意欲的です。前半では、クララ・シューマンの小品と、フルトヴェングラー、トスカニーニと並ぶ往年の大指揮者ブルーノ・ワルターによるソナタ。このソナタをお聴きになった方はほとんど居られないでしょうが、なかなかの素晴らしい好作です。後半はおなじみの名曲を豊潤なストラディヴァリウスの響きでお楽しみ下さい。同輩生のお宮さんは4回目の登場です。

善竹家 「秋」の狂言會

- 演目 ●「萩大名」……善竹忠重、善竹隆司
- 「月見座頭」……善竹忠一郎、善竹隆平
- 「狐塚」……善竹隆司、善竹忠亮、上西良介

狂言には季節感が豊かに含まれています。今回はそのなかから「秋」を描いた狂言三番をごらんいただきます。『萩大名』は、田舎の大名が秋の花の美しい庭を見物に出かける話。『月見座頭』は、中秋の名月の夜、座頭が野に出て虫の音を楽しむところに月見に来た男が行きあい、風雅な酒盛りを楽しむ話。『狐塚』は、稲が実った田を荒らすので太郎冠者、次郎冠者が寝るの番をする話。それぞれに秋の風情にあふれた狂言ばかりですが、なかでも「月見座頭」は名曲として知られています。善竹家らしい上品で端正な芸風とともにお楽しみください。

稲葉綾(ピアノ)、黒田育世(チェロ) ジョイント・リサイタル

- 曲目 ●シューマン……アダージョとアレグロ 変イ長調 作品70 (チェロとピアノ)
- ベートーヴェン……ピアノ・ソナタ 第17番 二短調 作品31-2 テンペスト
- ビヤソラ……パヴァーネ 第2番 (チェロとピアノのためのラプソディ) 作品21
- 丹生オサム……「インターパッセージ」無伴奏チェロのための <2001>
- スメタナ……ホルカ イ短調 (ピアノのための「チェコ舞曲集」より)
- スーク……愛の歌 作品7-1 (ピアノ)
- ハチャトゥリアン……トッカータ (ピアノ)
- ストラヴィンスキー……イタリヤ組曲 (チェロとピアノ)

地元出身の将来性ある若手をご紹介するシリーズのひとつ。稲葉さんは神戸女学院大学および大阪教育大学を経てチェコのプラハ音楽院に留学し、昨年帰国して宝塚市在住。黒田さんは2002年秋に風本佳苗さん、伊藤真理子さんとトリオでグリーン・フェスティバル初登場。神戸女学院大学からアメリカのニュー・イングランド音楽院に留学。須磨区月見山在住。チェロとピアノによる名曲から、ピアノ 独奏の名ソナタ、日本人作曲家に委嘱した無伴奏チェロ作品など、多彩なプログラムをご披露します。

仲道郁代 ピアノ協奏曲の午後

- 曲目 ●ベートーヴェン……序曲「コロラン」 作品62
- ベートーヴェン……ピアノ協奏曲 第2番 変ロ長調 作品19
- ベートーヴェン……ピアノ協奏曲 二長調 (ヴァイオリン協奏曲 二長調 作品61) からの作曲者自身による編曲

先年、ベートーヴェンのピアノ・ソナタ全32曲をすばらしい出来ばえで完演したレジデント・アーティストの仲道さんが講を持ちて放つ第2弾の連続演奏は同じベートーヴェンの協奏曲全曲。通常、彼のピアノ協奏曲は5曲とされていますが、今回は「徹底的に」3曲を加え、全8曲。すなわち、有名な「ヴァイオリン協奏曲」を彼自身がピアノ用に編曲したもの、ボン時代14歳のときの愛ホ長調協奏曲、当初「第2協奏曲」の終曲として用意されたロンドがその3曲です。お相手はドイツもので数々の名演を披露しているゲルハルト・ボッセ氏と氏が音楽監督をつとめる神戸市室内合奏団。年1回で全4回、2007年に完成する企画です。

長谷川陽子 チェロ・リサイタル

- 曲目 ●シューベルト……アルペジジョーネ・ソナタ イ短調 D.821
- シューベルト……セレナーデ D.957-4 (歌曲集「白鳥の歌」より)
- リヒャルト・シュトラウス……ロマンス ヘ長調
- リヒャルト・シュトラウス……チェロとピアノのためのソナタ ヘ長調 作品6

レジデント・アーティストの陽子さんがお好みのソナタをあるテーマにまとめて披露して下さる企画の3回目。これまでにフランスもの「ロシオ」ものが披露されましたが、今回は「若き日のソナタ」というテーマです。大きなソナタを前後に配し、間に小品2曲を挟んだスタイルは昨年と同じで、シューベルトのソナタは1991年暮、フェスティバルへ初登場の時に弾かれました。シュトラウスのソナタはかつて山崎伸子さんが弾かれましたが、彼女がフェスティバルでは初披露。お相手の伊藤恵さんについては紹介不要でしょう。充実した活躍を続けている名ピアニストのひとつで、丁寧なやりとりが期待できます。

神戸学院大学管弦楽団 第10回定期演奏会

- 曲目 ●ベートーヴェン……交響曲 第1番 八長調 作品21
- ベートーヴェン……交響曲 第3番 変ホ長調 作品55 「英雄」

グリーン・フェスティバルは大学での催しであるという特色を出すために、長年出演を要請してきた吹奏楽部に続いて、管弦楽団による毎年12月の定期演奏会を昨年からフェスティバルに組み入れております。努力を積み重ねて10回目の定期という節目を迎える本年は原点に帰る意味も含めて、これまで取りあげた曲目の中から「音楽の王」ベートーヴェンの交響曲を2曲ご披露します。どうか温かいご支援を。

松岡万希 ソプラノ・リサイタル

- 曲目 ●A. スカルラッチー……すみれ/ガンジス川より太陽が昇り
- ヘンデル……私を泣かせてください/なつかしい木陰よ
- J. マルティニ……愛の喜び
- ジョルダーニ……いとしい女よ (カロ・ミオ・ベン)
- ヴィヴァルディ……来て、いとしい人よ/私はないがしるにされた妻
- 山田耕柢……かやの木山/唄/この道
- 関伊狄磨……紫陽花/舟歌
- 多忠亮……宵待草
- ペリニ……放心/優雅な月よ
- ドゼッティ……私は家をつくりたい
- ヴェルディ……ストルネッロ「お前は私を愛さないと言う」
- トスティ……理想の人/そうなってほしい/かわい口もと
- ロッシーニ……うるわしい光が (歌劇「セミラミデ」より)

地元出身の将来性ある若手をご紹介するシリーズのひとつ。松岡さんは西宮高校から京都市立芸大を経て東京芸術大学を経てイタリアに留学。多彩なプログラムもそのひとつ。6月の第1回は、地味なジャンルにもかかわらず、大勢の熱心なお客様がご来場下さり、演奏にも好評をいただきましたが、インターネットでも興味深い質問が色々出てきました。今回は初回に続き、お相手の萩野さんも京都市立芸大の出身。アメリカに留学されました。

劇団東演公演【WWW.COM】

- 作 ●喻栄軍 (上海)
- 訳 ●中山文 (文学教授)
- 演出 ●越光照文
- 出演 ●南保大樹、小池友理香、古田美奈子、星野真広

中国上海からとびきり新鮮な現代劇が生まれました。上海では公演ごとに若者が行列を作ってチケットを買い求める大ヒット作品です。作者はまだ30歳の喻栄軍。大都会上海に暮らす若い夫婦が物の豊かさでは満たされない孤独を感じ、それをインターネットのチャットで虚すストーリー。描かれる人間関係が、セリフの一つ一つが、国を越えて私たちの心にしみずみず。その原作を本学人文学部中山文教授が翻訳、昨年東京の劇団東演が日本で初演しました。これまでの中国演劇のイメージを一新する話題作、今回が関西で初の公演になります。

林泉弦楽四重奏団 コンサート

- 曲目 ●ベートーヴェン……弦楽四重奏曲 第2番 ト長調 作品18-2
- ベートーヴェン……弦楽四重奏曲 第11番 ヘ短調 作品95 「セリオーソ」
- ベートーヴェン……弦楽四重奏曲 第8番 ホ短調 作品59-2 「ラズモフスキー」

このところ「音楽の王」ベートーヴェンの作品による連続演奏企画を企画していますが、この春から始まった林泉四重奏団による弦楽四重奏曲(全18曲)もそのひとつ。6月の第1回は、地味なジャンルにもかかわらず、大勢の熱心なお客様がご来場下さり、演奏にも好評をいただきましたが、インターネットでも興味深い質問が色々出てきました。今回は初回に続き、お相手は中期的傑作「ラズモフスキー」からの1曲です。

神戸学院大学学生放送局 第27回放送祭 ~3ヶ月~

- 録音劇 ●ラジオドラマをベースにlightingとslideで「感じる」物語を。
- 生劇 ●アナウンサーの声と効果音が織り成す臨場感あふれた朗読劇。
- 演出 ●放送祭のビッパ！今年は何が飛び出すやら……(笑)

放送祭とは、録音劇・生劇・演出の3部作で構成され、「放送をどこまで発展させられるのか」という、学生放送局の活動における1年間の集大成の行事です。今回は「3ヶ月」をテーマに、様々なドラマを繰り広げます。グリーンフェスティバルには久々の登場となりますが、皆様ぜひご来場ください！！